

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	バンビーニブルー		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブと放課後等デイサービスの子どもたちが分け隔てのないインクルーシブ教育が出来る。	放課後児童クラブと放課後等デイサービスの子どもたちが交流できるイベントを開催したりして、お互いに関わりが出来る機会を設定している。	他の事業所や施設などに出かけたりなど、交流を増やしていきたい。
2	自然と触れ合う環境が整っている。	その時々で戸外に出て、風の心地よさや動物、虫の鳴き声に耳を傾けるなど、自然を身体で感じられる活動を大切にしている。	送迎車を使って他の施設や自然に触れる体験をもっと増やしていきたい。
3	集団の中でのルールや決まりなどの大切なことを知り、社会に出て困らないような支援が出来る。	毎回課題を設定して、みんなで考えながら楽しんで話し合いをする機会を設けている。	食育や、様々な活動の中で、一人ひとりが役割を決めてみんなで協力しながら活動を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	連携の出来ている学校と出来ない学校があるため、支援にばらつきがある。	送迎の際に児童に寄り添ってくれる学校とそうではない学校があることと、送迎時間の都合で時間がなく話が出来ない時がある。	送迎には時間に余裕を持って行き、事業所側から児童の学校での様子を聞き出す。 なかなか先生に会えない学校などもあるため、今後も働きかけていきたい。
2	土曜開所をしていないため、土曜日に利用したい人は利用ができない。	開所当時は土曜日を利用したいという声が始どなかったため、開所していなかった。	土曜日を運動に特化したプログラムで発達支援をサポートしていく体制を考える。
3	パソコンを利用した発達支援をしていない。	運動面や自然を相手にした支援が多いので、パソコンを使用した支援を行っていない。 学校でもタブレットなどを利用しているので、考えていかなければならないのかと思う。	パソコン環境を整えて、一人一人が最低1週間に1回は触ることが出来る環境を整えていく。